



患者さんにやさしい 最新型1.5テスラMRI装置を導入!

~世界で最も静かな1.5テスラMRI装置です~

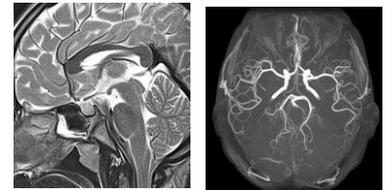


MRIは、磁石と電波を使って体の様々な断面像を撮像するので、放射線による被曝がないことが特長です。しかし大きな騒音になる狭いトンネルの中で、長時間検査を行わなければなりません。

今回導入したMRI装置は、従来の3倍の磁場強度を持つ最新の1.5テスラ装置ですので、

より短時間で、より詳細な情報を得ることができ、これまで困難だった腹部や血管など全身のあらゆる部位で検査ができます。

通常1.5テスラ装置では従来よりも大きな音が鳴ってしまいましたが、導入する装置は、画期的な静音化機構を備えた最新装置です。患者さんの入るトンネルの長さも50cm以上短くなりますので、よりリラックスして検査が受けいただけるようになります。



『まちの保健室』開催します!!

地域の皆さまの健康管理にお役にたてれば・・・との思いを込めて、『まちの保健室』を開催します!

- * 日時 : 平成21年6月26日(金)
14時~15時
- * 場所 : 正面玄関エントランス
- * 内容 : 血管年齢測定・骨密度測定・血圧測定
体脂肪測定・ストレス度測定
栄養相談・医療相談
- * 参加費 : 無 料

★参加ご希望の方はお電話で事前にお申込下さい。

【TEL0797-84-8811 宝塚第一病院】

DPCのご案内

DPC対象病院のお知らせ

当院は、厚生労働省が推進する急性期入院医療の包括評価方式(DPC)の対象病院として認可を受けました。

これに伴い、平成21年4月1日より、入院医療費の計算方法が、従来の「出来高方式」から、1日あたりの定額医療費を基本とした計算方法「包括評価方式(DPC)」に変更となりました。

DPCについて

入院医療費の計算方法が変わっても、今までの医療サービスや高額療養費の取扱いは変わりありません。

宝塚第一病院は、今後も地域医療との連携を密に図りながら、患者さんにより一層の安全・安心な医療を提供できるよう努めてまいります。



宝塚第一病院 救急外来を紹介します



救急外来ってどんなところ？

大きな外傷処置、心肺蘇生に必要な物品や機械がずらりとそろっています。

処置中のランプがついていて外からは中で何が行われているんだろう？と興味深々ですよ。

そう、中は、まさに命を救う現場なんです。

当院の救急外来には、昨年1年間で2318件、一日平均約6件の救急患者さんが搬送してこられました。

要請を受けた時点で血圧や脈拍をはじめとする細やかな情報を収集し、救急車の要請をトリアージしながら、医師・看護師・スタッフが協力し、地域の皆様のニーズにこたえられるように日々頑張っています。

救急車を受け入れると外来患者さんの待ち時間が発生するため、救急車の要請は、救急車が本当に必要な患者に使用してほしいと常に思います。

また、救急外来では、瞬時の観察・判断や技術を確実にこなすことが要求されるため、医師の協力の元で実践を兼ねた勉強会を行っています。



食中毒にご用心！

新型インフルエンザ対応

既に報道等でご承知のとおり、新型インフルエンザが流行し、WHOは警戒レベルをフェーズ6に引き上げたとの発表がありました。

当院では初の国内感染が発表された初期段階から感染拡大を防ぐため、新型インフルエンザ疑いの患者さんの玄関前でのトリアージを開始し、一般患者さんとの接触阻止を図り、専用診察室を設け対策を講じました。



夏は食中毒の季節です！！

そう言われると聞こえが悪いですが、少しの注意で予防できます！

食中毒を防ぎ、夏を楽しく過ごしましょう！

食中毒を防ぐ3原則

1. 菌をつけない

☆手や器具をしっかりと洗いましょう！



2. 菌を増やさない

☆調理したものは早めに食べましょう！

冷蔵庫や冷凍庫は過信しすぎないようにしましょう！



3. 菌を殺す

☆生ものは中心温度75℃で1分以上しっかりと

加熱しましょう！野菜も火を通せば安心です☆



栄養部

正面玄関



(バス) 感染疑い大の場合の診察場所

発熱患者さん専用待合と

専用診察室



院内



ここでトリアージ

コラム THE JIMUCHO Vol. 2

5月は新型インフルエンザの対応であわただしく過ぎ、気がつけばもう6月。

気象庁によると、今年ホタルの見ごろが早まりそうとのことです。

ホタルといえば、淡い光とともに夜の空間を幻想的に飛び回る初夏の風物詩ですが、最近ではホタルを觀賞するのもひと苦労と聞きます。西宮市北部に隠れた穴場があるそうで、初夏の光のファンタジーを楽しんでこようと思っています。

事務長 丸山